

「歯科技工士に求められる 写真撮影テクニック」

[10月16日 日曜日 12:00~16:00]

講師 岩崎 智幸
【Tomoyuki Iwasaki】

大阪セラミックトレーニングセンター宮崎
校 非常勤講師
フォトグラファー・Nikonプロサービス
NPSメンバー
歯科技工士
大阪セラミックトレーニングセンター宮崎
校 週末コース14期卒業
PHOTOLOGIC 代表
Studio IMO 所長



失われた歯牙の一部分や全部の機能を回復し、なおかつ審美性を損なわないように補綴物を歯科医師の指示のもと作製を行うのが歯科技工士が審美領域における修復の際、石膏歯型模型からの情報を読み取るだけでは回復でき困できない。色の情報が必要である。歯科技工士が補綴物を作製する患者の口腔内を必ずしも見ることはできない。歯牙の色の情報を歯科医師から受け取るために写真を必要とする。また製作過程や補綴物を口腔内に装着した状態での口腔内の状況を記録、伝達する手段としても、写真は非常に有効な手段である。ではその写真は忠実にそのものを記録することが出来るのか。どのような環境光の状況下でそのものを評価した状態を記録しているのか。そのスタンダードラインが必要となる。そのためには写真を撮影する為にカメラ本体と連ストロボの機材が必要となる。

この三者の組み合わせと調整で、撮れる写真が決まる。環境光の再現に必要な組み合わせと調整は求める環境光により異なる。写真による忠実再現の理を再認し、歯科領域をも超えた人生を豊かにする写真の可能性を技工士として周知したい。

- ・場所：くまもと県民交流会館パレオ
- ・参加費：会員 無料 会員外5,000円
- ・連絡先：(一社)熊本県歯科技工士会

※QRコードよりお申込みください

